

令和4年度老人福祉センター/高齢者ふれあいセンター/  
地域高齢者交流サロン 指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和3年度

施設のサービス水準の視点コメント

昨年度の利用者アンケート調査より、「施設・設備の充実度」や「職員の対応・態度」が概ね向上している。

指定管理者が独自の提案でスマホ教室を実施され、想定以上の申し込みのある中、柔軟に1日に2回開催に変更をされ、参加者からも大変好評であり、大変良かったと考える。高齢者が取り残されることなく情報の格差を解消ができることが期待でき、ニーズに合った内容となっていることを評価する。

収支状況 コメント

コロナ対策のために光熱費や通信費が増加しているが、収益としては黒字となっていることを評価する。

感染症対策 コメント

昨年度に引き続き、コロナ禍での施設の休館の要請に対して、市と連携して適切に対応していただいた。また、施設の開館再開後についても、施設内の感染予防を継続するとともに、利用者の開館再開のはがきの送付や、施設のガイドラインを市と連携して作成したことを評価する。

市による総合評価 コメント

昨年度に引き続きコロナ禍で運営が難しい中、予定していた敬老イベントを「作品展示・サークル紹介」に変更し、密を避ける内容にする等、工夫をして実施された。施設の利用者や利用率は、昨年度と比べて向上しており、引き続き、感染症対策を継続しつつ、コロナと共存する施設運営をしていただきたい。

収支については、コロナ対策で必要な経費の支出が増加しているものの、収益としては黒字となっていることを評価する。

これらの理由により、A評価とする。

総合評価

A

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった